

「当科胃癌治療における術前画像診断と病理診断の相違の検討」

1. 研究の対象

2018年から2020年の期間に、初発胃癌に対する手術を実施した、最終 Stage II～Stage III B と診断された患者さん。

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕

胃癌では、術前 CT からリンパ節(LN)転移診断を行い、進行度診断から治療方針が計画される。一方、画像による術前 LN 転移診断は、病理診断とは相異なることもしばしばです。

〔目的〕

当科胃癌手術症例で、術前画像と病理診断の相違／合致と予後との関連性を明らかにすることです。

〔方法〕

研究対象となる初発胃癌に対する手術症例において、下記の診療情報をカルテより抽出し分析します。

〔期間〕

倫理委員会承認後から2024年12月31日

3. 研究に用いる資料・情報の種類

術前背景因子・採血データ・手術情報・病理診断

4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名および ID を削除し、代わりに新しく符号または番号を付けて仮名化处理を行い、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（長田 寛之）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから 10 年保管し、適切に廃棄します。

5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

本研究で得られた情報は、今回の研究目的以外に使用することはありません。また、収集した情報を外部へ提供することはありません。

6. 研究成果の公表について

本研究の結果は関連学会などで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報特定できないよう十分配慮します。

7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 外科 長田 寛之

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 外科 中野 且敬、小城 正大、竹本 晴彦、萩野 元晴

8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2024年4月30日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 外科 長田 寛之（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151